

# 回覧

# 防災通信

## — 火山噴火災害 その1 — 市内の火山

松原第6町会 2023年 8月 1日

松原第6町会防災アドバイザー 黒澤

### 世界における日本の占める割合

陸地面積 0.25%	マグニチュード6以上の地震回数 22.9%
	活火山数 110山 7.1%

出典：国土交通省



※他の政府機関の公表値には、これとは異なる数値もあります

火山噴火の災害は、ほとんどの方はピンとこないと思います。しかしながら、2005年（平成17年）に安曇村が合併し、焼岳と乗鞍岳が「市内の火山」になりました。本年～8月26日が「火山防災の日」となります。また2014年の御嶽山噴火災害を教訓に9月27日を「信州火山防災の日」、8月28日～9月27日を「信州火山防災月間」に設定されています。この機会に火山噴火災害について数回に渡ってお知らせいたします。

## 【市内の火山 焼岳、乗鞍岳（常時観察火山）】

以下の図は、松本市のホームページ上の「火山ハザードマップ」から抜粋した、被害が最大時の被害想定地域図です。焼岳・乗鞍岳の近辺を観光や登山等で訪れていた場合、どこまで逃げれば良いかの目安を、読み解きますと、

### 松本市街地側

沢渡、奈川渡ダムまで下る  
中の湯・坂巻温泉は危険

### 上高地側

河童橋、明神まで遠ざかる  
大正池、釜トンネルは危険

### 岐阜県側

上宝、神岡まで下る  
丹生川まで下る  
新穂高・福地温泉は危険  
野麦も危険

### 安房トンネル周辺

岐阜県側へ抜け丹生川まで下る  
平湯は危険

### 乗鞍高原

乗鞍スキー場下端まで下る  
できたら奈川渡ダムまで  
となります。

ぜひ、一度松本市のホームページの火山ハザードマップ等↓  
をご覧ください。



※表示形式が異なりますが、いずれも松本市の公表図です  
現在乗鞍岳は静穏、焼岳は活発なため詳細図となっていると思われます

今回は、火山噴火災害の項目をお知らせする予定です